



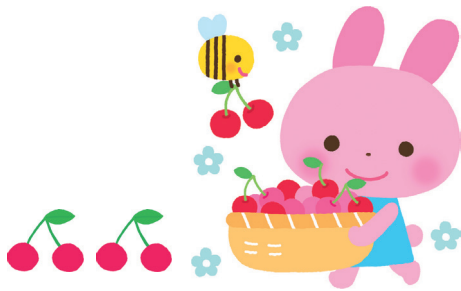
くす😊クス笑顔通信

松山市西長戸町274-2 TEL 089-911-0550 <https://www.kusuchildrens-clinic.jp/> くす小児科

くす先生のメッセージ

一気に夏日になり、暑さに体が慣れる前に、熱中症対策が必要になってきました。今年も梅雨入りが早いという予報のようです。気候の良い春が短くなってしまったように感じます。

依然としてマイコプラズマやヒトメタニューモウイルスなどによる咳が長く続く感染症が流行していますが、それ以外の感染症の目立った流行はないようです。しっかり休養を取ってお過ごしくださいね。



●発熱・感染症で受診のみなさまへ

新型コロナウイルス感染症は令和5年5月8日より感染症分類が5類に変更されましたが、発熱患者様は、院内に入らず、駐車場で待機の上、玄関のスタッフにお声かけいただくか、受付へお電話をお願いします。

新型コロナウイルス感染症の患者様で発熱しない方が増えています。身近に陽性者がいる方、集団生活で流行がみられる方、咳がひどく咽頭痛倦怠感の強い方は、発熱の場合と同じように、駐車場から受付へご連絡をお願いします。

当院では、院内感染防止のため、お電話で問診を伺った上で抗原検査を受けていただき新型コロナウイルス陽性の方には、駐車場で診察を行います。

ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

マイコプラズマとは

マイコプラズマは細菌の一種で、正式名称は「マイコプラズマ ニューモニエ」といいます。呼吸に関係する気管支に感染し、風邪、肺炎、気管支炎などを引き起こします。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどを引き起こす「ウイルス」とは異なり、マイコプラズマは「細菌」です。

そのため、マイコプラズマの治療には抗菌薬を使用します。しかし、マイコプラズマには一般的な細菌が持つ「細胞壁」という細胞の形を作る壁が無く、細胞壁に作用する抗菌薬は効果がありません。そのため、マイコプラズマに効果のある抗菌薬（マクロライド系・ニューキノロン系）を選んで処方し、治療を行います。マイコプラズマ肺炎と風邪の初期症状はよく似ており、どちらも発熱やだるさ、のどの痛みなどです。しかし、普通の風邪は3日ほどで徐々に回復に向かいますが、マイコプラズマ肺炎は回復どころかどんどん咳がひどくなります。日にちが経つにつれて咳が悪化する場合は受診してください。診察の上検査を行い診断します。抗菌薬を処方された場合はしっかり飲み切ってください。